



Future begins with engineers and JSPE

ホーム
Home

JSPEについて
About JSPE

技術倫理
Ethics

イベントカレンダー
Events

刊行物
Publications

[最新情報Home](#)

第35回Engineers' Salon 議事録

日時：2008年1月16日(水) 午後7時～9時30分

場所：赤坂事務所

出席人数：13人

参加者：永田（講師）、荒川、植村、、小野、鹿野、鈴木、住田、高柳、田崎、西川、日野、廣瀬、神野（(司会&文責)
(敬称略、アイウエオ順)

1. 企業が望むエンジニア像（永田講師）

今回お呼びしたDHR International Asiaの永田Executive Vice Presidentは三菱化学からソードに転職され、更にPCのマーケティングの会社を設立され、その後ご自身でコンサルタント業を営んでいる中でDHR Internationalが日本で事業を開始するに伴い入社した。

DHR Internationalは1989年シカゴで設立されたエグジクティブ人材紹介会社であり米国5番目にランクされている。

インタビューに対する心得を紹介していただいた。

1.自分の長所を3つリストアップできるようにする。

常日頃から考えておくべきである。

2.専門性を明確にする。

3.専門の中で3つの成功例を書く。日本人はプレゼンテーションに迫力が無い、奥ゆかしさや行間は読んでくれない。自己PRをきちんとできるようにする。皆で行ったことでも自分が主体であることをPRする。

4.履歴は直近の出来事から過去の出来事へ順々に並べて説明する。

5.長所を整理すること。弱点も聞かれ。

6.キャリアアップのロードマップをしっかり作り市場価値を高める

7.他社との共同作業（例 NED音の共同研究）などの外部との交流経験は有用な経験である。

8技術の“技”の字は手へんであるが“伎”の人ベンであるべきである。人と人との交流から多くの事柄が発見され、開発されて現代社会に役立てられている。

第二部

新年会をかねてお寿司とピザを食べながら自己紹介をかねた自己PRを行った。

2. 次回

次回は3月中を予定しており、話題は未定

(文責：神野)

以上

